

重点課題 1

自己評価

未達成

【不適正会計の根絶】

■会計管理者セルフレビュー（自己点検）

- 平成 22 年度は、
 - ① 会計事務研修、相談対応
 - ② 会計事務ポータルサイトを活用した随時の情報発信
 - ③ 抜き打ち検査の実施と指導を通じて、
職員の公金意識の徹底に取り組んだものの、
残念ながら、一所属において不適正会計が発覚し、申し訳ありません。

- このため、会計事務に対する府民の信頼度の向上のために、より一層、取り組みを行い、
不適正会計の発生「ゼロ」を目指します。

《その実現に向けて、今年度何をするのか？～施策推進上の目標》

マニフェストの内容	取組結果・実施状況
<p>■ 公金意識の徹底</p> <p>○ 職員に次の3点を徹底します。</p> <p>① 公金の取扱いに必要悪はない(私的流用なくとも、不適正)</p> <p>② 不適正会計は必ず発覚する</p> <p>③ 不適正会計は割りに合わない</p> <p>上記3点の意識を徹底させるため、以下の取組みを推進します。</p> <p>○ (取組内容) 年度末目標</p> <p>【会計事務研修の開催】 参加人数 現状 3,300人以上</p> <p>【会計事務ポータルサイトの充実】</p> <p>アクセス件数 現状 35,000件以上へ</p> <p>【抜き打ち検査の実施】 全職場 494職場</p>	<p>● 【職員への公金意識の徹底】 (目標達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会計事務研修、相談対応を詳細(随時)に実施 ・ 会計事務ポータルサイトの内容の随時更新の実施と事例検討の掲載 ・ 抜き打ち検査の計画的実施と指導を確立 <p>● 【意識を徹底させるための取組み】 (目標達成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会計事務研修の実施 3,177名(96.3%) (平成23年3月末実績) ・ 会計事務ポータルサイトの内容の随時更新と内容の充実 33,809件(96.7%) (平成23年2月末実績) ・ 抜き打ち検査の実施 494職場(100.0%) (平成23年3月末実績)

《その取組みにより、何をどのような状態にするのか？～アウトプット》

マニフェストの内容	取組結果・実施状況
■ 不適正会計の発生を「ゼロ」にします。	● 不適正会計の発生は「1」件

《その取組みにより、何をどのような状態にするのか？～アウトカム》

マニフェストの内容	取組結果・実施状況
■ 会計事務に対する府民の信頼度を向上します。	<p>・ 府民アンケート(※H22.8 マニフェストアンケート)の結果: 不適正会計の根絶に向けた取り組みへの信頼度 51.3% → 年度末目標56.4%(51.3%の1.1倍)をめざします。</p> <p>【調査結果】(※H23.3 マニフェストアンケート) → 40.4%</p> <p>府民への情報発信が不十分であったことを踏まえ、更なる取組の強化を行います。</p> <p>また、本府を始め、他の地方公共団体における不適正会計事案の報道の影響が大きかったものと考えます。</p>



【新公会計制度の導入】

■会計管理者セルフレビュー（自己点検）

■ 新公会計制度の導入について

- ・ 大阪府において複式簿記・発生主義・日々仕訳方式による新公会計制度を平成 24 年度から本格導入するため、会計基準の検討、府有財産の調査、既存の財務会計システムの改修等を、計画どおり実施しました。
- ・ 平成 23 年 4 月から、全庁的に試験運用を開始します。

《その実現に向けて、今年度何をするのか？～施策推進上の目標》

マニフェストの内容	取組結果・実施状況
<p>1 新公会計制度の導入準備 大阪府全体のみでなく、組織別や事業別の貸借対照表・行政コスト計算書を作成し、ストック情報やフルコスト情報を明らかにするため、次の取組みを行います。</p> <p>① 複式簿記・発生主義に基づく会計処理を行うための会計基準を策定</p> <p>② 日々の会計処理の段階から複式簿記の仕訳を行うため、財務会計システムを改修</p> <p>③ 新公会計制度を円滑に導入し、有効に活用するため、職員研修を実施</p> <p>④ 府民や他自治体に対して、新公会計制度導入の必要性を積極的にPR</p> <p>■ 上記の導入準備を着実に進めるため、以下の取組みを行います。</p> <p>【報告書の作成】 本年夏を目途に、会計基準やシステムの内容を報告書(案)として公表し、府民意見を得る</p> <p>【職員研修の実施】 参加人数 1,200 人（全職員への浸透を図るため、庁内全グループから1名の出席を予定）</p> <p>【新公会計制度ホームページの充実】 アクセス件数 10,078 件（平成 21 年度） → 目標 20,000 件 へ</p>	<p>● 【新公会計制度の導入準備】 （目標達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会計基準となる大阪府財務諸表作成基準（案）を作成・公表 ・ 財務会計システムの改修を実施 ・ 職員向けの新公会計制度概要研修、実務担当者研修をはじめ、日々の会計処理時に試験運用と同じ環境で複式仕訳処理を行うシステム操作研修等を実施 ・ 近畿ブロック府県会議、府内市町村連絡会議、公会計制度改革シンポジウム等を開催して新公会計制度導入の必要性を周知 ・ 総務省「公会計研究会」で、大阪府の新公会計制度の取組みを報告 <p>● 【導入準備を着実に進めるための取組み】 （目標達成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「大阪府の新公会計制度（案）」を公表し、パブリックコメントを実施 ・ 研修参加人数 3,039人（253.3%） ・ 府民向けホームページのアクセス件数 35,200件（176.0%） <p>※ 研修参加人数、府民向け HP アクセス数とも目標を上回っています。今後とも1人でも多くの府民、職員への発信に努めるとともに、平成24年度からの本格運用に向け、引き続き導入準備に取り組みます。</p>

《その取組みにより、何をどのような状態にするのか？～アウトプット》

マニフェストの内容	取組結果・実施状況
平成 23 年度から新公会計制度の運用を開始します。	● 平成23年度から新公会計制度の試験運用を開始します。

《その取組みにより、何をどのような状態にするのか？～アウトカム》

マニフェストの内容	取組結果・実施状況
※次年度以降、目標を設定します。	

